

第38期 決算公告

令和7年6月30日

山口県岩国市美和町百合谷10281-2

株式会社 やさか

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	18,270,991	【流 動 負 債】	5,164,140
現 金	988,299	買 掛 金	983,566
預 金	5,520,090	未 払 費 用	2,819,454
未 収 金	10,788,118	未 払 法 人 税 等	182,500
クレジット未収金	160,534	預 り 金	65,220
商 品	427,853	仮 受 金	114,900
原 材 料	373,897	未 払 消 費 税 等	998,500
未 収 入 金	22,200	負 債 合 計	5,164,140
貸 倒 引 当 金	△ 10,000		
【固 定 資 産】	6,609,171	純資産の部	
(有形固定資産)	6,123,773	【株 主 資 本】	19,716,022
建 物	2	資 本 金	30,000,000
建 物 付 属 設 備	105,688	(利益剰余金)	-2,771,218
構 築 物	122,974	その他利益剰余金	-2,771,218
機 械 装 置	2,599,734	繰 越 利 益 剰 余 金	-2,771,218
車 両 運 搬 具	981,221	自 己 株 式	-7,512,760
工 具 器 具 備 品	2,064,686		
造 作	1		
一括償却資産	249,467		
(無形固定資産)	482,648		
ソフトウェア	238,000		
電 話 加 入 権	222,768		
リサイクル預託金	21,880		
(投資その他の資産)	2,750		
出 資 金	2,750	純 資 産 合 計	19,716,022
資 産 合 計	24,880,162	負債・純資産合計	24,880,162

損 益 計 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目		金 額	
【売 上 高】 物 品 売 上 高 飲 食 売 上 高 管理・その他収入 施 設 利 用 収 入 【売 上 原 価】 期 首 棚 卸 高 仕 入 高 当期製品製造原価 ** 合計 ** 期 末 棚 卸 高		6,914,118	53,197,159
		9,310,660	
		19,130,519	
		17,841,862	
		585,019	10,290,461
		4,783,809	
		5,349,486	
		10,718,314	
		-427,853	
	売上総利益金額		42,906,698
【販売費及び一般管理費】 【営業外収益】 受 取 利 息 雑 収 入 【営業外費用】 【特別利益】 貸倒引当金戻入益	営業損失金額		52,066,360
			-9,159,662
		11,791	4,764,835
		4,753,044	
	経常損失金額		-4,394,827
			10,000
	税引前当期純損失金額		-4,384,827
	法人税・住民税及び事業税		182,500
	当期純損失金額		-4,567,327

営業報告書（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

レイクプラザやさかは、令和 5 年 11 月から令和 6 年 3 月にかけて実施した大規模改修に伴う休業期間を利用し、飲食部門及び物販部門の運営体制とレストランメニューの見直しを行い、令和 6 年 4 月 1 日よりリニューアルオープンしました。

レストラン部門においては、料理長の依願退職を受け、厨房のパートスタッフが誰でも調理・提供できるように、新しい調理オペレーションマニュアルを策定し導入しました。また、メニュー構成に関しては「地産地消」を目標に掲げ、山口県・広島県産の食材をできる限り使用するように考案した結果、「やまぐち食彩店」に認定されました。さらに、食券販売機の導入や給茶機の設置によるセルフサービスへの変更を行い、レストラン部門の人員配置の効率化を図りました。

物販部門では、お客様のご要望にお応えし、品揃えを大幅に拡充しました。

大竹市の「弥栄饅頭」をはじめ「きく芋かりんとう」や「瀬戸のしずく」、岩国市の「やましろブランド」、「つまんでちょんまげシリーズ」、がんね栗加工品・岩国れんこん加工品を中心に品揃えを広げ、お客様から大変ご好評をいただいております。

全社の当期売上高は 53,197 千円で、2,928 千円増（前期比 105.8%）となり、売上総利益は 42,906 千円の 407 千円増（前期比 101%）となりました。特にレストラン・物販部門については、施設のリニューアルや運営改善効果が表れました。物販売上高は、6,914 千円の 874 千円増（前期比 114.5%）・飲食売上高は 9,310 千円の 2,496 千円増（前期比 136.6%）となりました。

一方で、原材料の高騰を受け、令和 7 年 2 月 1 日よりレストランメニューの価格改定を実施しました。

管理収入では、指定管理料や各種事業に係る管理料は総額 19,130 千円で、前期比 710 千円の減額となりました。

施設利用収入については、17,841 千円（前期比 101.5%）となり、268 千円の増額となりました。事業ごとでは、レンタルボートが前期比 129.7%の 7,167 千円、テニス・グラウンドは前期比 87.6%の 498 千円、パークゴルフは 88.9%の 3,893 千円、キャンプ場は美和側 103.7%の 2,396 千円、大竹側キャンプ場は 81.2%の 3,886 千円となりました。

経費となる販売及び一般管理費については、人件費が前期の改修工事に伴うレストラン部門の休業期間があったため、単純な比較は難しいものの、前期比 1,677 千円の増額となりました。また、レストランの運営方法変更に伴う食券販売機や給茶機などの設備導入、および老朽化した厨房機器やケビンの布団の更新といった設備投資を行ったため、減価償却費、消耗品等が増加したことが主な原因となり 2,798 千円（前期比 105.7%）の増額となりました。

次に、営業外収益はソフトクリームフリーザー、給茶機、草刈り機、芝刈り機の設備導入に対する「業務改善助成金」3,000 千円、高齢者雇用に関する「特定求職者雇用助成金」700 千円、ポスレジ導入に対する「IT 導入支援補助金」700 千円を活用したため、4,541 千円の増となりました。

最後に、貸倒引当金戻入益の 10 千円を加え、法人税等を差引いた結果、当期純損失は▲4,567 千円、利益剰余金も▲2,771 千円となりました。

これで 6 期連続の赤字決算となり、株主各位には重ねてお詫び申し上げます。

当社としましては、この状況を真摯に受け止め、早急な経営改善を目指してまいります。今後は、事業運営のさらなる効率化を徹底するとともに、後ほどご審議をいただきます「観光栗園事業」をはじめとする新たな取り組みを含めた 3 か年の中期計画に沿って事業を推進してまいりたいと考えております。

引き続き、弥栄湖周辺を核とした岩国・大竹地域の観光交流人口の増加を目指し、収益の向上と経営の安定化を図ってまいりますので、株主各位におかれましては、今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

株式会社 やさか

令和 7 年度 役員名簿

代表取締役	村山 年克
取締役	宮本 誠
取締役	上田 清次郎
取締役	三原 尚美
監査役	宮本 宜明
監査役	三井 佳和